

6年学年だより

太陽

た…誰かに頼らず自分の力で
い…今以上を常に目指す
よ…よく考え、学び
う…生み出す

令和7年12月25日(木)
目黒区立東根小学校
校長 高鍋 恭子
第6学年担任

小学校生活最後の冬休み

季節は巡り、気が付けば今年も終わりを迎えようとしています。振り返ると、運動会や興津での宿泊行事をはじめ、一つひとつの行事に全力で向き合い、仲間と力を合わせて乗り越えてきた一年でした。どの場面にも、子どもたちの成長とがんばりが確かに刻まれています。なかよしタイムや委員会活動では、下級生へ思いをつなぎ、役割を引き継いでいます。

冬休みは、これまでの一年をゆっくりと振り返る大切な時間です。ぜひご家庭で、今年がんばったことや心に残っている出来事を話し合いながら、来年はどんな一年にしたいか、目標やめあてを立ててみてください。新しい年に、また元気な姿が見られることを楽しみにしています。どうぞよい冬休みをお過ごしください。

冬休みの宿題

学習内容	
ドリルパーク	・課題で送っているものに取り組みましょう。(算数・理科)
書き初め	・「夢の実現」を書きます。 ・半紙を4枚配ります。そのうち1枚をご提出ください。



○1月8日(木)について

4時間授業で、給食はありません。下校は4時間目終了後、午後0時20分頃になります。

持ち物：冬休みの課題、道具箱、書写セット、学習用情報端末、白衣(給食当番だった人)
卒業に向けてのお願い②(1月9日が提出締め切り日になっています)

○席書会について

日時：1月8日(木) 3・4校時

場所：体育館

- ※ 当日は、汚れてもよい服で登校させてください。
- ※ 席書会にて、「めぐろの子どもたち展」に出展する作品をクラスごとに2名選出します。
- ※ 習字道具の準備をお願いします。(大筆をしっかり洗っておいてください。)
- ※ 配布済みのお手本も忘れずに持たせてください。



○中学受験に関する書類の受け渡しについて

報告書等の書類の作成が必要な場合は、冬季休業前までに「報告書用紙」「募集要項」等を封筒に入れ、保護者の方がご持参ください。作成した書類は、令和8年1月8日（木）午後4時以降のお渡しとなります。受け渡しの際は、必ず保護者の方がご来校ください。

なお、受験校への提出が1月7日以前の場合には、担任までご連絡ください。



○冬休み明け「一斉オンライン体験」について

実施日時 令和8年1月8日（木）午後1時50分～午後2時

夏季休業明けと同様、学習用情報端末（iPad）内の Google Meet（Classroom）を使って学校と家庭をつなぎ、オンラインでやり取りする方法を確認します。

長期休業明けの児童の状況確認も兼ねて実施したいと考えていますので、1月8日に学校を欠席した場合も、可能な限り参加できるようご配慮いただけますようお願いいたします。（当日学校を欠席し、オンライン体験にも参加されなかった場合は、電話連絡にてご連絡させていただきます。）



～ 1 2 月の児童の様子～

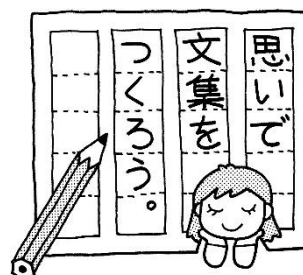
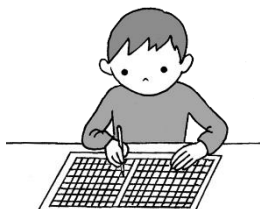


卒業文集の作成

卒業が少しずつ現実のものとして近づく中、子どもたちは卒業文集の作成に取り組みました。教室には、真剣な表情で原稿用紙に向かう姿が並び、いつもとは違う緊張感が漂っていました。書き始める前には、6年間の学校生活を振り返り、「あんなこともあったよね」「それ、懐かしい！」と自然に会話が生まれ、思い出話に花が咲く場面も見られました。

しかし、いざ筆を進めると、「自分は何を書き残したいのか」「将来読み返したとき、どんな思い出として残したいのか」を一人ひとりが真剣に考えていました。友達との関わり、宿泊行事や運動会で学んだこと、先生からかけてもらった忘れられない言葉——そのどれもが、子どもたちの心に大切に刻まれていることが伝わってきます。完成した文章を読んでいると、こちらまで胸がいっぱいになり、大きな成長を感じずにはられません。

保護者の皆様には、子どもたちが書いた文章を確認していただきました。お忙しい中、ご協力いただきましてありがとうございました。



能と狂言の学習

日本の伝統文化である能と狂言を、実際に鑑賞する貴重な学習の機会をいただきました。社会科では室町時代の文化として学び、国語科では狂言『柿山伏』に親しんできましたが、目の前で本物に触れる体験は、子どもたちにとって格別なものとなりました。

静寂の中で進む能の所作や、面や装束がもつ意味、ゆったりとした動きの一つ一つに、子どもたちは自然と引き込まれていきました。一方、狂言は、言葉のリズムや表情、身振りの面白さに笑いがこぼれ、物語の分かりやすさを楽しむ姿が見られました。同じ時代に生まれた文化でありながら、表現の違いを肌で感じる事ができたようです。

教科書の中の知識が「本物」と結び付いたことで、歴史や言葉への理解がより深まり、日本文化の奥深さに触れる学習となりました。



いじめを考える めぐろ子ども会議について

十中校区をさらに明るく、よりよい地域にしていくことを目的に、第十中学校の2年生、八雲・宮前小の6年生が集まり、「いじめを考える めぐろ子ども会議」を行いました。事前学習では、まず各学級で話し合い、いじめを生まないための「学級宣言」を決定しました。その後、東根小学校全体から集まった意見をもとに、ダイヤモンドランキングを作成し、自分たちにとって大切だと思う価値観を整理しました。

「よりよいコミュニケーションに必要なものは何か」という問いに向き合い、一人一人が自分の考えをまとめ、学級内で交流した上で本会議に臨みました。当日は、相手の話をよく聞き、自分の考えを言葉にして伝えようとする姿が随所に見られました。「多くの人と関わることの大切さ」や「つながりを広げたい」という思いから、日常生活を想起しながら様々な意見が生まれました。活発に話し合い、真剣に考える子どもたちの姿はとても心強く、これからの学校生活につながっていく学びとなりました。

